

# 2026年04月 イーアイデム会員対象アンケート結果

## TOPICS

9割を超える人が  
「未経験OK・経験不問の求人は応募しやすくなる」と回答

株式会社アイデム  
メディアソリューション事業本部 データリサーチチーム

## 調査名

- ▶【イーアイデム会員限定】お仕事探しに関するアンケート

## 調査目的

- ▶現在の求職者の状況を把握し、今後のサービス向上・商品開発につなげる

## 調査対象

- ▶総合求人サイト「イーアイデム」の会員で、2026/04/01～2026/04/30の期間にイーアイデムから何らかの求人に応募した人

## 調査期間

- ▶2026/04/02～2026/05/05（34日間）

## 調査方法

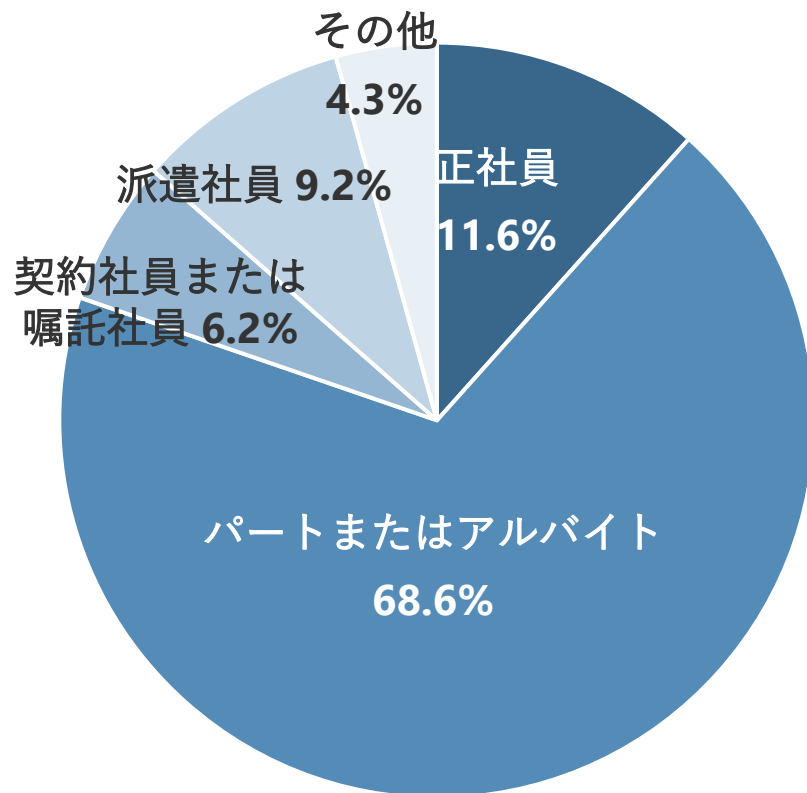
- ▶インターネットリサーチ

## 有効回答数

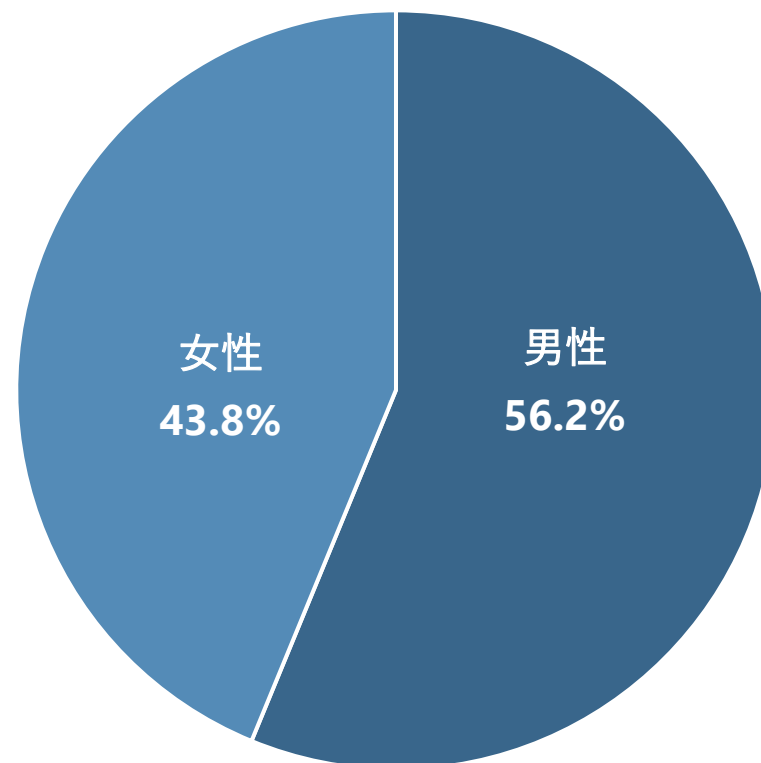
- ▶370件

※調査結果は四捨五入のために合計が100%にならない場合があります

希望する雇用形態



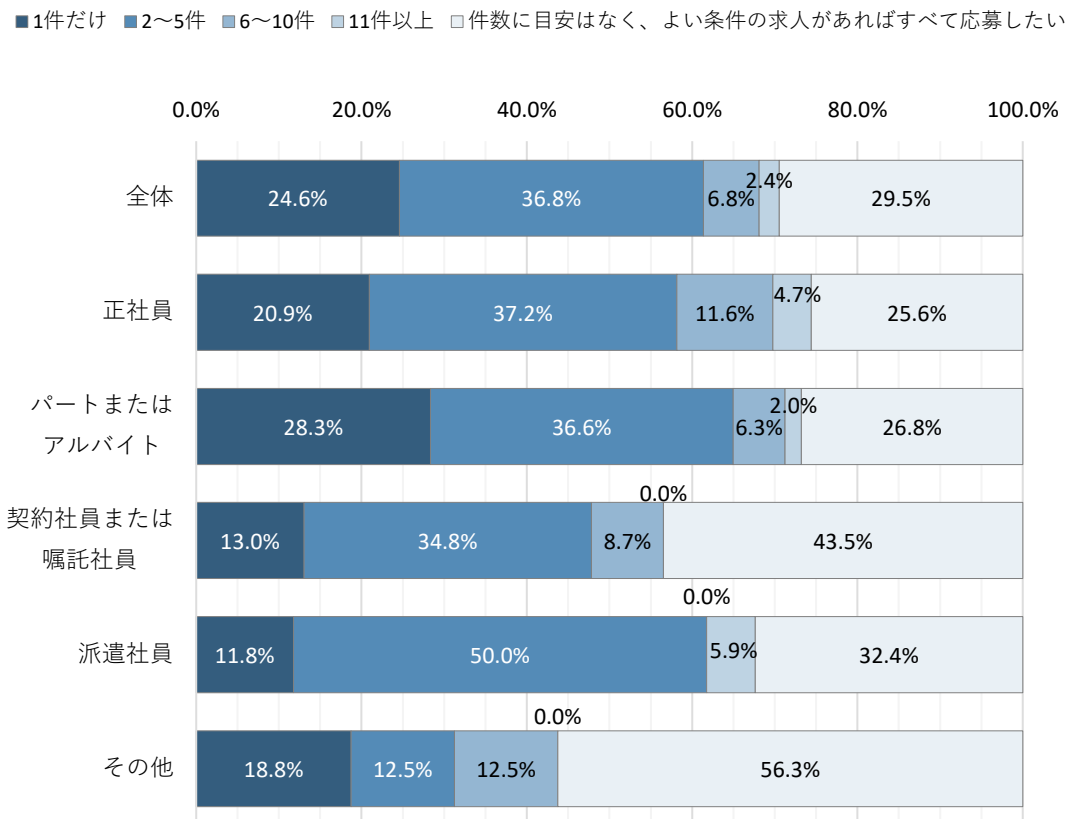
性別



イーアイデムに掲載された求人に応募した人に、今回の求職活動期間の中で、求人に応募する件数の目安があるかどうかをきいた。全体では、「2～5件」が最も多く36.8%、次いで「件数に目安はなく、よい条件があればすべて応募したい」が29.5%、「1件だけ」が24.6%、「6～10件」が6.8%、「11件以上」が2.4%となった。「1件だけ」以外を選んだ割合は全体の8割弱となった。

希望雇用形態別にみると、「正社員」では「6～10件」が11.6%、「11件以上」が4.7%となり、より多い件数を目安にしている割合が他の雇用形態を希望者よりも多かった。数多くの企業に応募して比較検討することで、より自分に適した企業の仕事を見つけたいという意欲の表れかもしれない。

今回の求職活動期間の中で、およそ何件ほど応募しようと思いますか。



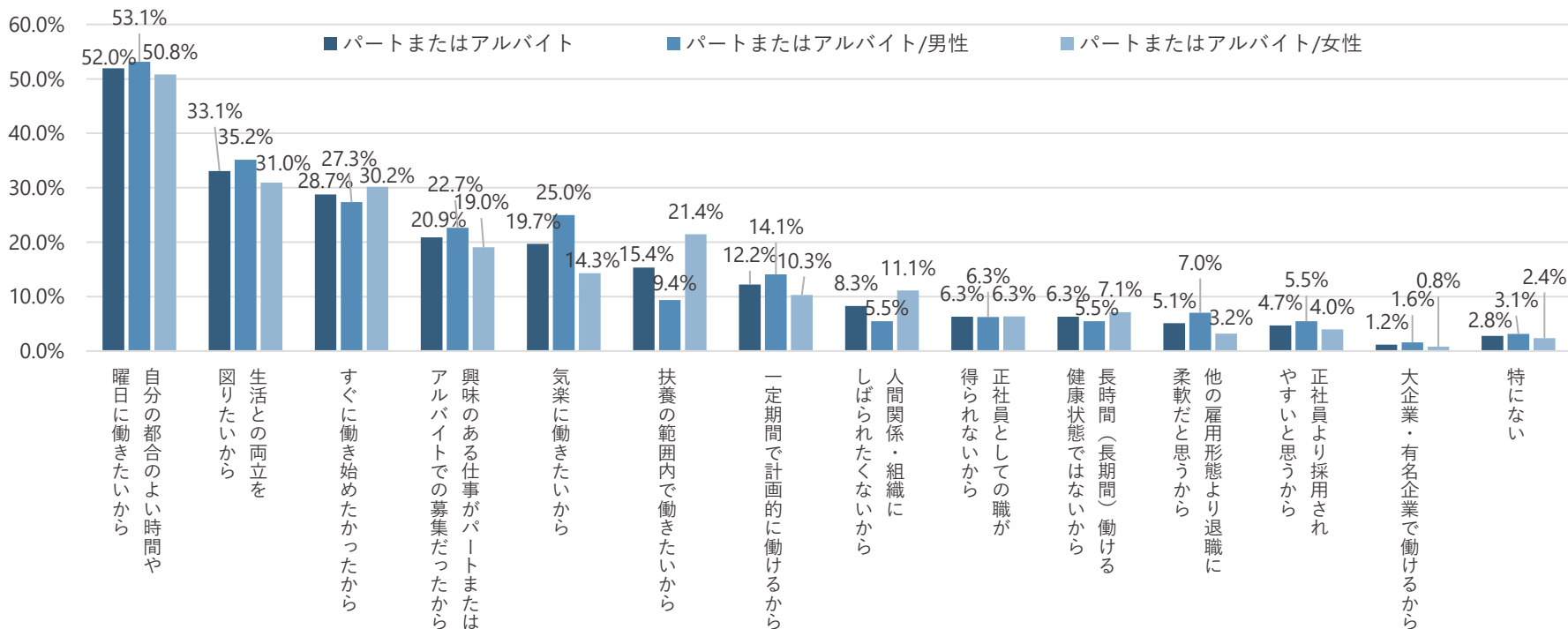
# パート・アルバイトを希望する理由

イーアイデムに掲載された求人に応募した、パートまたはアルバイトを希望する人に、なぜその雇用形態を希望するのかをきいた（複数回答）。最も多かったのは「自分の都合のよい時間や曜日に働きたいから」で52.0%、次いで「生活との両立を図りたいから」が33.1%、「すぐに働き始めたかったから」が28.7%となった。柔軟な働き方や即時性を重視する傾向が明確に表れている。

性別との関係を見ると、「男性」のほうが「女性」よりも「気楽に働きたいから」が10.7pt高かった。精神的な負荷が少ない働き方を選びたい人が多いようだ。

一方、「女性」のほうが「男性」よりも「扶養の範囲内で働きたいから」が12.0pt、「人間関係・組織にしばられたくないから」が5.6pt高くなった。収入制限を意識した働き方や、家庭・私生活とのバランスを前提とした就業意識がより強く反映されているといえる。

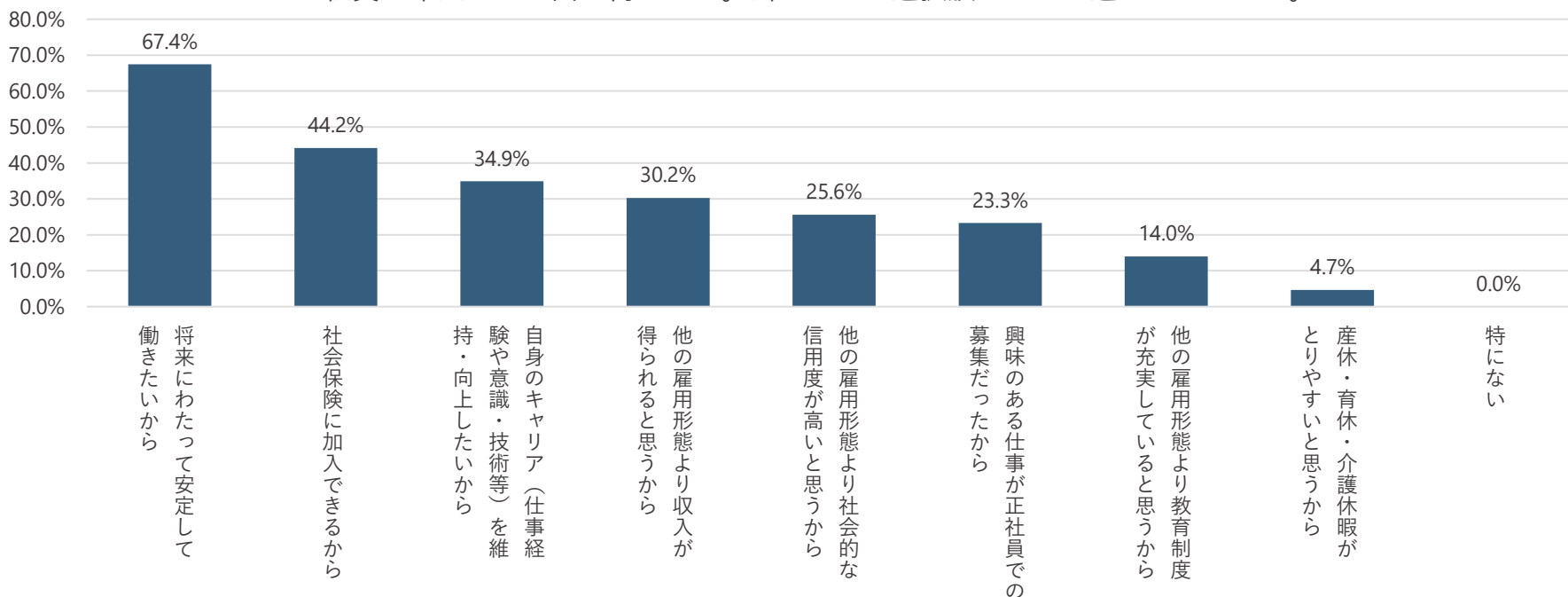
パートまたはアルバイトを希望する理由は何ですか。当てはまる選択肢をすべて選んでください。



イーアイデムに掲載された求人に応募した、正社員雇用を希望する人に、なぜ正社員を希望するのかをきいた（複数回答）。最も多かったのは「将来にわたって安定して働きたいから」が67.4%、次いで「社会保険に加入できるから」が44.2%となっている。長期的な雇用の安定性に加えて、生活基盤の確保や自己成長への意識が正社員志向の主な背景となっていることが明らかとなった。

「他の雇用形態より教育制度が充実していると思うから」は14.0%、「産休・育休・介護休暇がとりやすいと思うから」は4.7%にとどまり、福利厚生や制度面の充実を主な理由として挙げる割合は相対的に低い結果となった。また、「特にない」が0.0%であることから、正社員を希望する人の多くが明確な目的意識を持って応募していることがわかる。

正社員を希望する理由は何ですか。当てはまる選択肢をすべて選んでください。



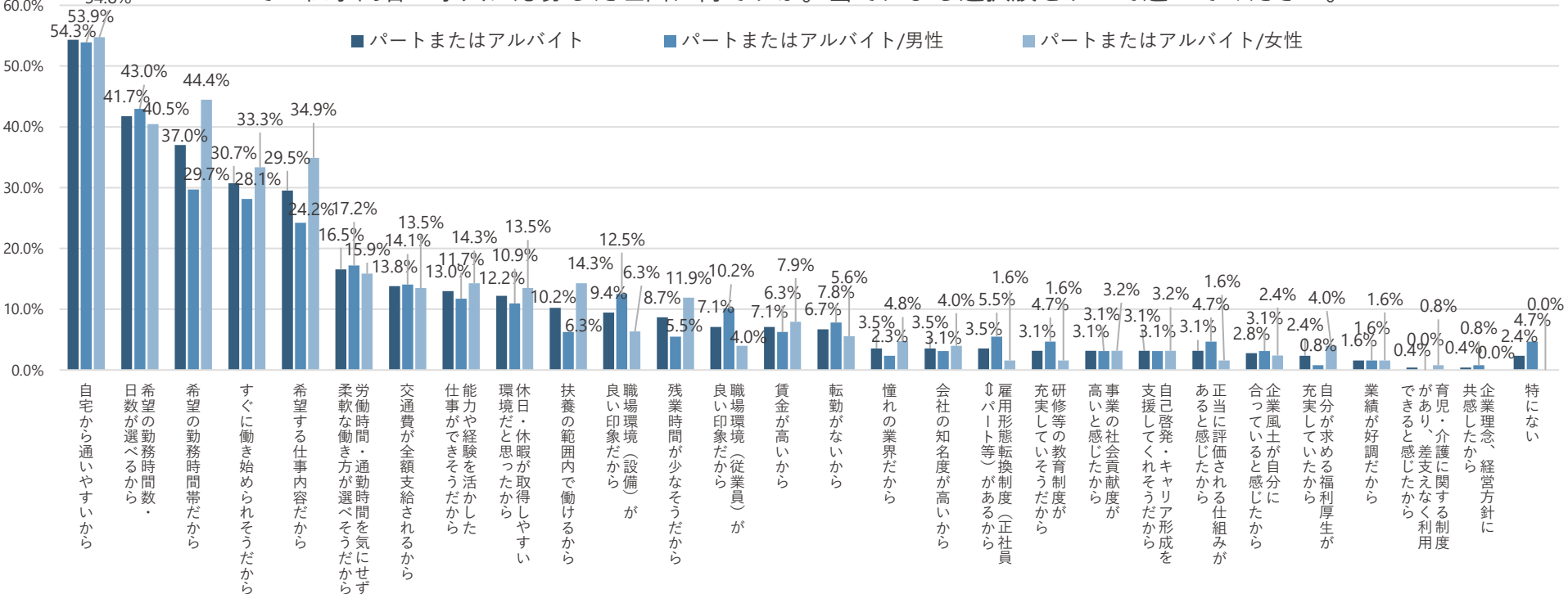
# 求人に応募した理由（パート・アルバイト希望の場合）

イーアイデムに掲載された求人に応募した、パートまたはアルバイト雇用を希望する人に、自身が応募した求人を選んだ理由をきいた（複数回答）。最も多かったのは「自宅から通いやすいから」で54.3%、次いで「希望の勤務時間数・日数が選べるから」が41.7%、「希望の勤務時間帯だから」が37.0%となった。応募先の選択においては、通勤利便性に加えて、働く時間や日数に関する柔軟性が重要な判断基準となっているようだ。

性別との関係を見ると、「男性」のほうが「女性」よりも「職場環境（設備）が良い印象だから」と「職場環境（従業員）が良い印象だから」が6.2pt高くなった。働く場の環境面に対する印象が応募動機に影響している傾向がみられる。

一方、「女性」のほうが「男性」よりも「希望の勤務時間帯だから」が14.7pt、「希望する仕事内容だから」が10.7pt、「扶養の範囲内で働けるから」が8.0pt高くなった。生活との両立や収入制約への配慮、業務内容をより重視するようだ。

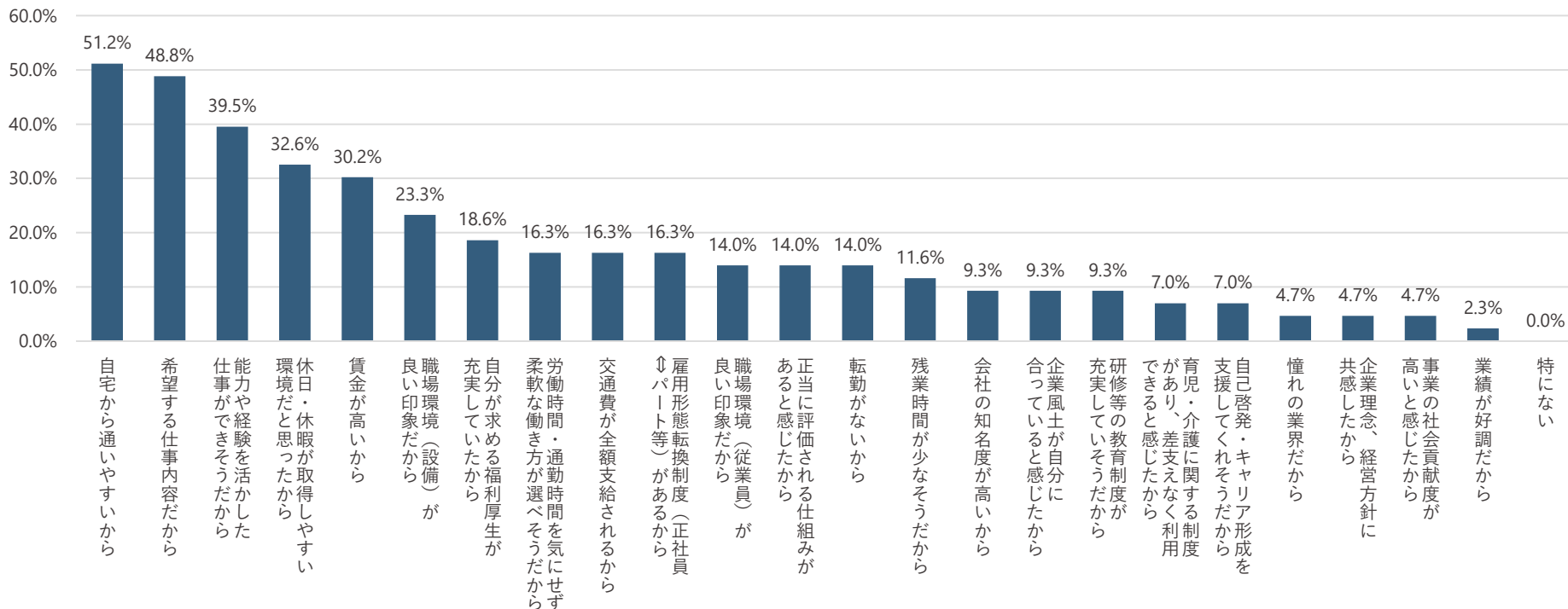
その仕事内容の求人に応募した理由は何ですか。当てはまる選択肢をすべて選んでください。



# 求人に応募した理由（正社員希望の場合）

イーアイデムに掲載された求人に応募した、正社員雇用を希望する人に、自身が応募した求人を選んだ理由をきいた（複数回答）。最も多かったのは「自宅から通いやすいから」が51.2%、「希望する仕事内容だから」が48.8%、「能力や経験を活かした仕事ができそうだから」が39.5%となった。雇用形態としての安定性だけでなく、実際に従事する業務内容や自身のキャリアとの接続性を強く意識しながら応募先を選択していることがうかがえる。

その仕事内容の求人に応募した理由は何ですか。当てはまる選択肢をすべて選んでください。

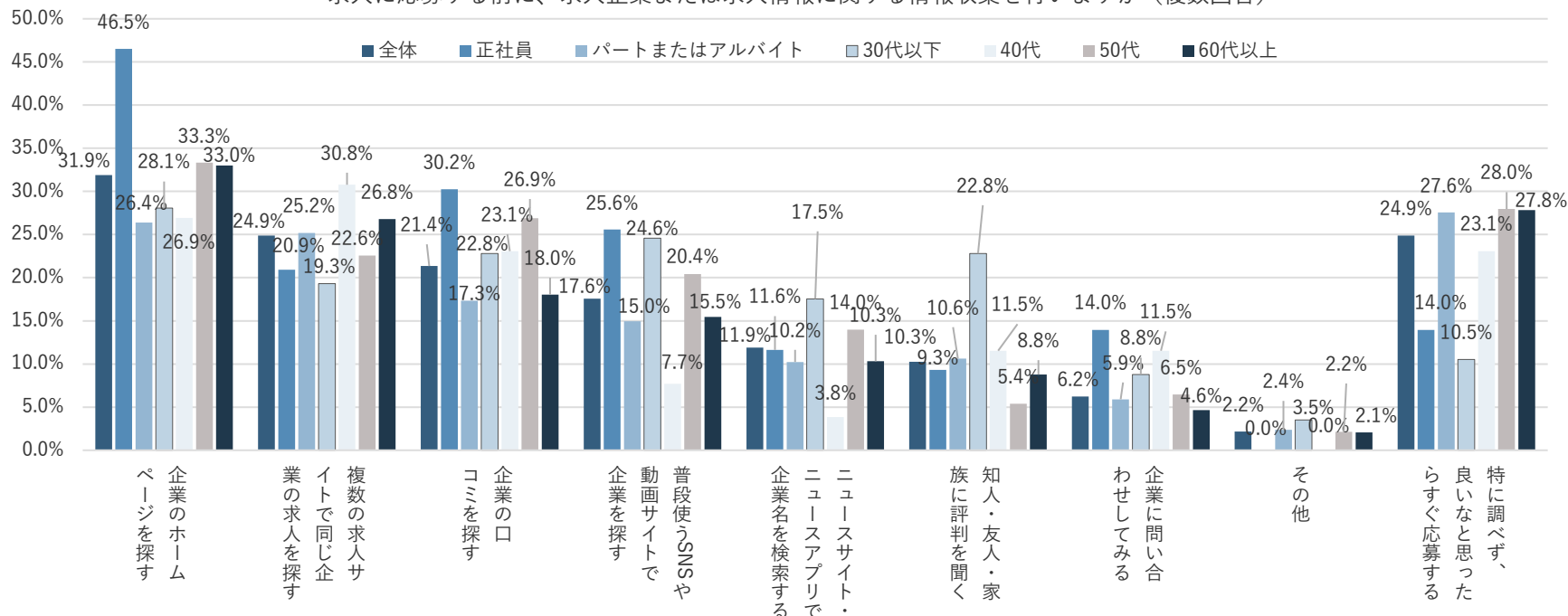


イーアイデムに掲載された求人に応募した人に、求人に応募する前に求人企業または求人情報に関する情報収集をするかどうかをきいた（複数回答）。全体では「企業のホームページを探す」が31.9%で最も多く、次いで「複数の求人サイトで同じ企業の求人を探す」が24.9%、「企業の口コミを探す」が21.4%となった。「特に調べず、いいなと思ったらすぐ応募する」人は24.9%で、約四分の三は事前に何らかの情報収集をするようだ。

希望の雇用形態別にみると、「正社員」を希望する人では「企業のホームページを探す」が46.5%で約半数となっている。応募前に何かしらの情報を集める人が多いようだ。一方「パートまたはアルバイト」を希望する人では、「特に調べず、いいなと思ったらすぐ応募する」が27.6%で、4人に1人は情報収集をする前に応募にうつるようだ。

年代別にみると、「30代以下」では「普段使うSNSや動画サイトで企業を探す」が24.6%、「知人・友人・家族に評判を聞く」が22.8%と、他の年代と比べると高くなった。自分が普段から使っている身近な情報源を活用していることがうかがえる結果となった。

求人に応募する前に、求人企業または求人情報に関する情報収集を行いますか（複数回答）



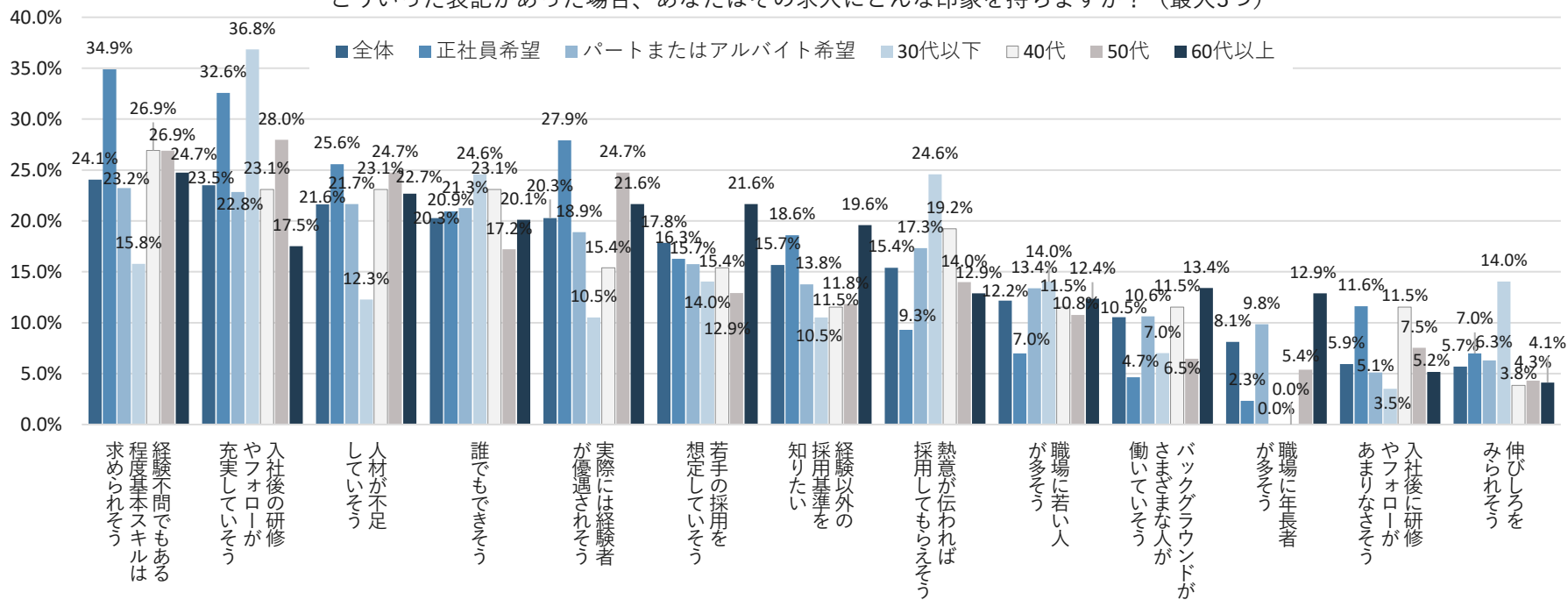
# 経験の有無を問わない求人の印象

イーアイデムに掲載された求人に応募した人に、求人に「未経験OK」「経験不問」等の表記があった時の印象をきいた（最大3つ）。最も多かったのは「経験不問でもある程度基本スキルは求められそう」の24.1%、次いで「入社後の研修やフォローが充実していそう」が23.5%、「人材が不足していそう」が21.6%となった。求職者は、この表記から一定の前提条件や企業側の事情を推測しながら受け止めているようだ。

希望の雇用形態別にみると、希望が「正社員」の人では「パートまたはアルバイト」の人よりも「経験不問でもある程度基本スキルは求められそう」が11.7pt、「入社後の研修やフォローが充実していそう」が9.8pt、「実際には経験者が優遇されそう」が9.0pt高くなった。入社後にどんな仕事から学んでいくのかが分かれば、求職者に懸念されている表記と実態のギャップを埋められそう。一方、希望が「パートまたはアルバイト」の人では「正社員」の人よりも「熱意が伝われば採用してもらえそう」が8.0pt高かった。意欲を重視する職場ではマッチングに役立ちそう。

年代別にみると、「30代以下」ではほかの年代に比べ「入社後の研修やフォローが充実していそう」や「熱意が伝われば採用してもらえそう」「伸びしろをみられそう」といった、成長機会として好意的な印象を受けていた。一方、「50代」や「60代以上」では「人材が不足していそう」や「実際には経験者が優遇されそう」といった項目が相対的に高く、これまでの経験から表記の裏側を探っている一面がみられる。

「未経験OK」「経験不問」など、募集する業種・職種に対しこれまでの経験の有無は問わない求人があります。こういった表記があった場合、あなたはその求人にどんな印象を持ちますか？（最大3つ）



# 経験の有無を問わない求人の応募のしやすさ

イーアイデムに掲載された求人に応募した人に、求人に「未経験OK」「経験不問」等の表記があった場合に応募しやすくなるかをきいた。全体では「はい」が90.8%、「いいえ」が9.2%となった。経験の有無を問わない表記は、多くの人に対して応募への心理的ハードルを低くする効果が見込めるようだ。

希望の雇用形態別、あるいは年代別にみてもこの傾向は大きくは変わらない。「未経験OK」「経験不問」といった表現が応募へのハードルを下げる効果は、雇用形態や年代を問わないようだ。一方で、全体の約1割は応募のしやすさの向上を感じていない点も踏まえると、より幅広い応募を促すためには、未経験可の意図や具体的な業務内容、求める水準などを補足的に提示し、求職者の理解を深めることも重要であると考えられる。

「未経験OK」「経験不問」などの表記があると、応募しやすくなりますか？

